



希望 光 明日

学校だより 令和6年6月5日 校長 大澤由美子

[学校教育目標]
心豊かな生徒
意欲的に学ぶ生徒
たくましく生きる生徒

イチロー選手の言葉

6月になりました。運動部は学校総合体育大会の川越市予選が近づいて、これまで以上に気合いが入っているのを感じます。また、吹奏楽部と美術部もコンクールや展覧会に向けて熱心に活動しています。3年生にとっては中学校での部活動の集大成です。皆、持てる力を存分に発揮してほしいと思っています。どの部も、仲間との絆を大切に、落ち着いて粘り強く、精一杯頑張ってくれることを期待しています。熱い思いにあふれた西中生の輝く姿を楽しみにしています。

さて、毎年この時期に同じ話をしています。今は引退している野球の**イチロー選手の言葉**です。

「びっくりするような好プレーが、勝ちに結びつくことは少ない。確実にこなさないといけないプレーを確実にこなせるチームは強い」

取り組んできたことを一つ一つ確実にやるのが、勝つことや強さにつながるということだと、私は解釈しています。本番だからと気負って、目を引くようなプレーをしようと思っても簡単にできるものではありません。むしろ空回りして、普段できていることすらできなくなってしまうことが多いものです。非日常の場面で平常心を失い、思うようにいかなかったということはよくあることです。大切なのは、練習してきたことをいかに確実に、丁寧に実践できるかということ。そして、何を練習してきたのか、何にどのように取り組んできたのかということ。努力を続けてきた自分が、物事の本番での自分を支えます。技能が向上していることに加えて、やるべきことをやってきたということが自信につながり、何倍も強くなるのです。これは部活動に限ったことではありません。学習や人間関係、その他の学校生活、家庭での生活など、幅広く言えることだと思います。積み重ねてきたものは自信となり、精神力の強さにつながります。そのような本当の意味での「強い人」を目指して、日々頑張りたいと思っています。

イチロー選手の言葉からは、努力と挑戦を重ねてきた人物が語る重みを感じます。他にも素晴らしい言葉がたくさんあり、その中からいくつか紹介したいと思います。

- ・小さいことを積み重ねる事が、とんでもないところへ行くただひとつの道。
- ・結果が出ない時、どういう自分でいられるか。決して諦めない姿勢が、何かを生み出すきっかけをつくる。
- ・どうやって、ヒットを打ったのかが問題。たまたま出たヒットでは何も得られない。
- ・選手である以上、プレッシャーは感じていたい。プラスにするもマイナスにするも自分次第。プレッシャーのない選手でいたいとは思わない。
- ・手抜きをして存在できるものが成立することがおかしい。